

すまいるん vol.68



社会福祉法人 済生会
済生会熊本福祉センター

就労継続支援A型・B型 就労移行支援 済生会かがやき	幼保連携型 認定こども園 済生会しらふじ子ども園 児童発達支援センター 済生会なでしこ園
就労継続支援B型 生活介護 済生会ほほえみ	済生会グループホーム事業所 済生会熊本福祉相談支援センター
就労継続支援A型・B型 済生会ウイズ	熊本市障がい者相談支援センターさいせい 熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!!済生会熊本福祉センターです。

私達の福祉センターは、認定こども園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。

園児・利用者・従業員・職員総勢約620名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理 念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

基本方針 ・ライフステージに応じた自立を支援します。
・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
・利用者主体の福祉を実践します。

卒園 おめでとうございます

しらふじ らいおんぐみさん、そつえんおめでとう

たのしくあそんで、みんなですごしたこどもえんとも、これでおわかれです。
こどもえんでのせいかつで、なにがいちばんみんなのおもいでにのこっていますか。
はなのひ・おとまりほいく・うんどうかい・まつり・はっぴようかい・クリスマスかい・スケート・しゃりようきちけんがく、まだまだいっぱいたのしいことがありました。
みんなとおわかれするのは、とてもさびしいですが、4がつからみんな1ねんせい、これからもしらふじこどもえんでのたのしかったおもいでをむねに、げんきいっぱいがんばって、ともだちいっぱいつくってください。
そして、いまのようなやさしいところを、ずっともちつづけて、かがやきつづけてください。せんせいたちは、いつまでも、みんなのことをわすれませんよ。
だから、みんなもときどきはこどもえんにあそびにきて、しょうがつこうのおはなしなどをいっぱいきかせてください。
せんせいたちは、いつでもまっていますよ。
済生会しらふじ子ども園 えんちょうせんせい 森本 成一

ご卒園を祝して

なでしこ園を巣立っていかれる園児の皆さん。ご卒園おめでとうございます。併せて、保護者・ご家族の皆様にも心からお慶び申し上げます。
卒園児の皆さんには、大好きな先生やお友達と過ごした園生活で、多くの思い出ができたことと思います。さまざまな体験を通して、できることが少しずつ増えたり、時には苦手なことに立ち向かったりする様子が沢山見られました。そしてその頑張っている姿と屈託のない笑顔で遊んでいる仕草や表情から、なでしこ園職員はいつも元気と勇気をもらいました。
さて、4月からいよいよ小学生になる皆さんには新しいお友達や先生との出会いが待っています。また、新しく入学する学校の教室等、これから迎える環境の大きな変化に期待と不安が入り混じっていることでしょう。しかし、これまで培った力ですぐに慣れてくれるものと信じています。
子どもたち一人一人が持っている力や個性を十分に発揮し、自立に向けた基礎を固めるとともに、強みを生かした可能性をさらに広げていかれることを切に願っています。

済生会なでしこ園 園長 五瀬 浩

熊本福祉センター 2023年度事業計画

2022年度はコロナ禍による利用者の利用率低下、ウクライナ情勢や円安相場などによる燃料費の高騰や物価上昇に関する支出コストの増加、福祉サービスにおける慢性的な人材不足などの厳しい環境下の中、第一弾の人事制度改革、事務局体制の変更を含む組織改革、しらふじ子ども園のシステム導入、メールシステムの更新、環境整備体制の充実、将来を担う職員の採用、かがやき、ウイズ、グループホーム事業所の第三者機能評価受審など様々な改善に取り組んできました。

2023年度は将来の福祉事業継続に向けた大規模な施設整備を予定しており、開業18年目を経過したクリーニング事業の改修工事及び機器更新、食品加工棟の建築、グループホーム事業ではホームの拠点集約のための用地買収、なでしこ園のシステム導入と熊本福祉センター全体に関わる障がい福祉システムの導入など優先順位を決めて取り組む予定にしています。利用者の工賃向上は勿論のこと、熊本病院、みすみ病院をはじめとする受託事業の質を高め、地域社会に貢献する組織運営を行っていきます。

2023年度のキーワードは2022年度同様に『KAIZEN』、品質向上、連携協働、安定経営の3本柱としました。熊本福祉センター全体に浸透するまで継続的に取り組んでいくことにしました。

済生会熊本福祉センター 2023年度 運営基本方針

キーワード：KAIZEN

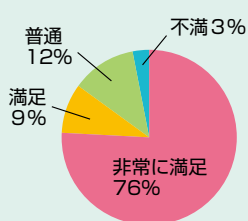
1 品質向上	①IT化を推進し、支援や保育の質向上 ②職員が成長できる組織改革と人事制度の構築 ③設備や機器を更新し質の高いサービスや商品を提供	4 働く喜びを 実感できる 環境づくり 9 就業と生活環境の 両立を支援する
2 連携協働	①地域社会とのつながりを強め、センターの認知度を向上 ②センターの一員として共に働く意識の醸成 ③開設20年や済生会学会熊本開催に向けた準備と情報発信	3 すべてにKAL （KAIZEN）を 実践する 7 パートナシップ 関係を築く
3 安定経営	①利用者や園児の受け入れを推進し、地域社会に貢献 ②リスク管理（自然災害、機器故障、安全衛生）の徹底 ③収益力アップの取り組みと管理会計による経営強化	8 働きがいと 成長を促す 環境づくり 12 つくし事業 の推進

2022年度 満足度アンケート集計結果

～福祉センター「利用者（児）満足度調査」集計結果より～

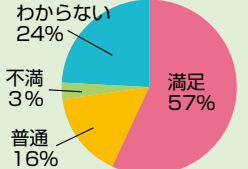
済生会福祉センターでは、各施設を利用されている皆様を対象に毎年「利用者（児）満足度調査」を行なっています。回答にご協力して下さった皆様ありがとうございました。下のグラフは各事業所の総合評価の結果です。

済生会かがやき (33名回答)



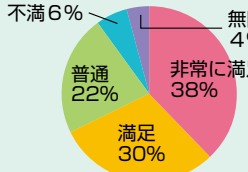
今年度は、昨年までの満足度調査アンケートとは、内容を変更して実施しています。A型11名、B型22名の計33名の方が回答されました。
全体評価は「非常に良い」「良い」が85%と、前年度に比べ12%減となっています。今回不満と答えた方については、休憩場所の確保について意見を出されており、病院内という事もあり、改善に困難を要する点もありますが、パーテーションや休憩中の過ごし方について掲示をしなが、全体で過ごしやすい休憩スペースを作っていきたいと思っています。
しかしながら、「職員は、～さんと敬意をはらい、声かけをしてくれますか?」という質問については、分からないと答えた2名の方以外、31名が「毎回敬意をはらってくれる」と回答いただきました。この内容でも分かるように職員が日々利用者と向き合いながら、個人を尊重し、支援をしている様子が分かる内容となりました。
今後も今回の結果より良いかがやきになるよう職員一同頑張っていきます。

済生会ほほえみ (37名回答)



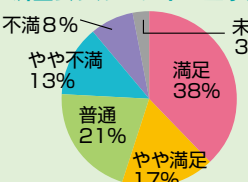
B型9名、生活介護28名が回答されました。今年度は生活介護・B型のアンケート内容を変更して行いました。ほほえみ全体評価で満足が57%、普通が16%、不満3%、わからない24%という結果でした。「もっと担当職員に話かけてほしい」「忙しそうで言いにくい時がある」「外に出る活動がしたい」等の声が聞かれました。職員が余裕を持っでの対応を行い、利用者の要望を聞きながら楽しめる活動、販売や納品の外出など感染対策に注意しながら行う等、満足度を高めることが出来るよう工夫していきます。

済生会ウイズ (50名回答)



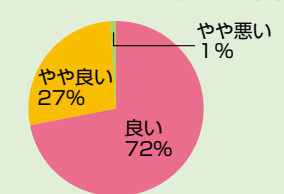
今年度は、昨年までの満足度調査アンケートとは、内容を変更して実施しています。クリーニング27名、食品23名の計50名の方に回答して頂きました。全体評価では「非常に満足」「やや満足」が68%と、昨年の「良い」「やや良い」80%から、12%減となっています。個人間のトラブルが意見に反映している面もあるため、職員が日々利用者とのコミュニケーションを大事にし、その中から個々に合った支援が必要であることを再認識することが出来ました。また余暇活動に関しての外出や外食の意見が多く見られました。コロナ禍でなかなか難しい点もありますが、利用者の要望に沿うことが出来るよう心掛けていきます。
今後も、より良い「済生会ウイズ」になるよう職員一同頑張っていきます。

済生会グループホーム事業所



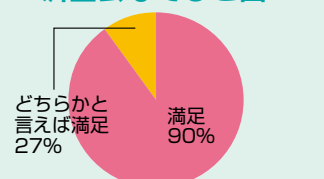
今年度の満足度調査は「満足」「不満」の表現に変えて総合評価をしていただき調査を行いました。83名中、75名の回答をいただき「満足」「やや満足」は55%と、昨年の「良い」「やや良い」71%からは残念ながら低い結果となりました。「旅行がしたい」「外出がしたい」「外食がしたい」とのコメントが多く、新型コロナウイルスによる影響もあったのではないかと考えられます。来年度はしっかりと感染対策は取りながらも利用者のニーズに答えられるように取り組んでいきたいと思っています。

済生会しらふじ子ども園



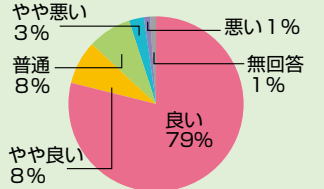
今年度は、ICT「コドモン」を取り入れたこともあり、コドモンのアンケート機能を使い、利用者満足度調査を行いました。
例年は家庭実数で行っていましたが、今年度は全園児数で回答をお願いしました。結果、昨年度より、「良い」・「やや良い」という回答が99%でした。今後もコドモンの機能やホームページを活用し、教育ならびに保育の様子を発信していきたいと思っています。

済生会なでしこ園



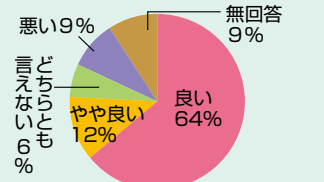
2021年度の総合評価と同じく、保護者の方々からは、「子どもたちの特性に合わせた支援」「子どもが安心して通うことができる環境や関わり」等、主に職員の対応に関する評価をいただきました。また、今年度は、昨年度のアンケートの中での課題に対応し、親子での活動を取り入れた行事の設定を行う中で、さらに「きょうだい」へ向けた支援や行事等の要望も頂いております。その他、保護者勉強会に関し、特性に合わせた内容での開催を望む声や土曜通園に関するご要望もあり、次年度の課題と捉えながら、更なる利用児・保護者の皆様にとっての満足度向上に向けて工夫して参ります。

済生会熊本福祉相談支援センター (78名回答)



ご契約者の中から121名（無作為抽出）の方を対象に郵送にてアンケート調査を行い、78名の方からご回答をいただきました。総合評価は「良い」「やや良い」が9割強を占め、「悪い」「やや悪い」は4%との結果になりました。
ご意見として相談対応に満足しているとの声を多数いただきましたが、「モニタリングにビデオ会議や画像でのやり取りも取り入れてほしい」「担当者交代と聞き、少し不安です」などのご意見も頂戴しております。アンケートで頂いたご意見を今後の支援に活かし、これからも相談支援のスキルやサービス向上に努めてまいります。

熊本県地域生活 定着支援センター (33名回答)



定着支援センターでは、3年ぶりに利用者満足度調査を実施しました。支援対象者50名に郵送で送付し、33名の方に回答していただきました。
総合評価で「良い」と答えた方は64%、「やや良い」と答えた方が12%となり、半数以上の方に満足していただけていることが分かりました。今年度は、支援を受ける中で嬉しかったことと嫌だったことの2つを記述で回答していただく欄を設けました。嬉しかったことの多くは、「話を聞いてもらえたこと」や「支援物資をもらったこと」といったものでした。反対に、嫌だったこととしては「説明が分かりにくい」などが挙げられました。
今回の調査結果をセンター内で共有し、今後の支援に活かしていきたいと思っています。

忘年会特集

12月17日(土)にウイズB型忘年会を開催しました。今年は外出と施設内活動を組み合わせた「ボーリング・カラオケ・ビンゴ大会」を計画し、外出先と施設内で検温やアルコール消毒等、感染対策を講じて実施しました。

済生会ウイズ

ボーリングは宇土パスカワールドで行いました。ストライクやスペアを出し、ガッツポーズする姿が見られました。ハイタッチ等は控え、拍手でお互いのプレイを称えました。

福祉センターにて黙食で豪華なお弁当と可愛いデコレーションのケーキを頂きました。「おいしかったよ」という声が沢山聞かれました。カラオケではパーテーションを使用し自分の好きな曲を笑顔で歌唱されました。ビンゴ大会は読み上げられる番号とカードとをにらめっこし一喜一憂。ビンゴになると笑顔で景品を獲得されていました。利用者さん、職員で楽しく過ごすことが出来ました。



12月24日(土)宇土のパスカワールドでボーリング大会を行い、かがやきの食堂で豪華な懐石弁当とクリスマスケーキに舌鼓。その後は毎年恒例のプレゼント渡しとゲーム大会。かがやきの忘年会を開催しました。

済生会かがやき



12月24日(土)に、宇城市にある「料亭さかもと屋」にて、ほほえみ忘年会を行いました。「どんな料理がでるのかな?」「プレゼントは何か?」等、とても楽しみにされていました。外出、外食も久しぶりの方が多く、表情からワクワク感が伝わってきました。豪華な食事を堪能、カラオケを熱唱して、恒例のプレゼントを受け取り、笑顔いっぱいの日となりました。「来年は何かもらえるのかな〜」と、既に来年に向けて気持ちは動き出しています!



済生会ほほえみ

親子活動★パン作り

済生会なでしこ園

1月21日(土)、パン工房ふわりにて、ほほえみの利用者さんたちとうさぎ組の子どもたち、保護者のみなさまでパン作りを行いました。

活動が始まる前は、見慣れない場所やいつもと違う雰囲気子どもたちは少し緊張していましたが、パン作りが始まると生地をちぎったりくっつけたりと、真剣なまなざし!みんなと一緒にパン作りや手遊び・ダンスをしてとても楽しい時間になりました!

パンが焼きあがるまでの時間は、城山公園に移動してみんなで外遊び。お天気もよくて暖かい日だったので、ブランコや滑り台、アスレチックでたくさん体を動かしました。そして昼食はおとうさんやおかあさん、先生も一緒にお弁当タイム。お母さんが作ってくれた愛情たっぷりのお弁当を食べてみんなにっこり!



楽しみにしていたパンが焼きあがると「大きい!」「ふかふかだ〜」と、みんな大喜び!焼きたてのパンをひと口食べて「おいしい!」と、たくさん笑顔が見られた1日になりました。



たのしい発表会

済生会しらふじ子ども園

新型コロナウイルス感染拡大により延期になっていた、たのしい発表会を2月4日(土)に対象クラスの子どもたち、全員出席で無事に行うことができました。

うさぎ組(2歳児)は、遊戯のみの発表でしたが、可愛い衣装を身につけて可愛い遊戯を見せてくれました。

ぱんだ(3歳児)・きりん組(4歳児)・らいおん組(5歳児)の子どもたちはプログラムが3つあり、ぱんだ組は、4月から習ったリトミックより、「犬のおまわりさん」の曲に合わせてタンバリン・すず・カスタネットを使ったリズム遊びをしてくれました。きりん組は、鍵盤ハーモニカでのメロディオン演奏「かえるのうた」や「きらきら星」などのメドレーを披露してくれました。らいおん組は、和太鼓演奏を披露してくれました。秋まつりの時より新しいリズムが増えてさらにパワーアップした演奏で、会場の方たちを魅了していました。

各クラス、年齢ごとの成長がみられ、私たちも嬉しかったです。



第75回 済生会学会参加報告

2月11日(土)~12日(日)にパシフィコ横浜ノースで開催された第75回済生会学会、令和4年度済生会総会に参加しました。熊本福祉センターからは、宮川所長、小西事務長をはじめ管理者5名、発表2名、一般参加2名、視察3名の計12名での参加です。

初日は福祉施設長会議、障害者福祉施設分科会等4つの分科会、懇親会が開催されました。

全体会議では済生会本部からの報告と講演があり、分科会ではそれぞれ分かれて各施設の状況などについて議論が交わされました。

2日目は特別講演等の各種講演、口演発表、ポスター発表、シンポジウムなど医療や福祉に関する研究発表や事例発表、活発な議論が交わされました。かがやきの坂本君子リーダー、ウイズの岡村貴子支援員のポスター発表では多数の聴講者が集まっており大盛況でした。他施設の方がポスターの写真を撮られるほど素晴らしい発表でした。最後の総会は秋篠宮皇嗣殿下ご臨席のもと、潮谷義子会長や炭谷茂理理事長から永年勤続者への表彰などが行われました。



来年度は熊本での開催です。熊本城ホールをメイン会場として開催されますので、当センターからも口演やポスター発表を多数出す予定です。運営スタッフも含めてセンター全体で盛り上げていきましょう!



大人の抱負

済生会かがやき

今年は1名の方が成人(20歳)を迎えられました。ご成人おめでとうございます。



松島 知宏

お仕事を頑張って、しっかりした大人になります。

発行所

済生会熊本福祉センター

発行責任者 宮川 栄助

編集 広報委員会

熊本市南区内田町3560-1

TEL 096-223-3330

FAX 096-223-3429

<https://www.sk-fukushi.jp/>

